

岩橋武夫 いわたけ たけお 社會事業家、英文學者、小説家。明治二十一年二月十六日大阪生れ、昭和二十九年十月二十八日歿（一九六一年九月）。早稲田大學在學中失明し中退、關西學院高等學部英文科卒。大正十二年大阪市立盲學校へ奉職。イギリス留學後、關西學院教授。昭和六年盲人協會を、十年ライトハウスを設立。日本盲人會連合會會長、日本ヘレン・ケラー協會幹事長等歴任。隨筆家高田じづりの實兄。

著譯書 『動き行く墓場』（大正十四年十一月五日警書醒社書店）、『星とパンー世界苦心臨む基督教』（昭和七年二月二十日教文館出版部）、『愛盲一盲人科學のABC』（昭和七年十一月十日大阪・日曜世界社）、『失樂園の詩的形而上學』（昭和八年五月二十日基督教思想叢書刊行會）、『母・妹・妻一女性の與ふ』（昭和八年十月二十日大阪・日曜世界社）、『日曜世界社』、チャールズ・デイキンズ作『主イエス様の御生涯』（譯、昭和九年十一月二十日三省堂）、『ネラー・ブラツディ著『偉大なる教師サリヴァンーヘレン・ケラーの背後の秘められし五十年の血涙記』』（芥川潤共譯著、昭和十一年五月二十日三省堂）、『石垣の聲』（昭和十七年二月十六日平凡社）、『海なき燈臺（緬亞愛盲の集）』（昭和十八年一月二十五日國民圖書協會）、『ヘレン・ケラーと青い鳥』（昭和二十二年八月五日主婦之友社）、『ヘレン・ケラー傳』（昭和二十二年八月十五日主婦之友社）等。

